

インタラクシオン 2016 開催のご案内

拝啓時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび一般社団法人情報処理学会では、ヒューマンコンピュータインタラクシオン研究会、グループウェアとネットワークサービス研究会、ユビキタスコンピューティングシステム研究会、エンタテインメントコンピューティング研究会、デジタルコンテンツクリエイション研究会の主催によるシンポジウム「インタラクシオン 2016」を、2016年3月2日（水）、3日（木）、4日（金）に科学技術館にて開催いたします。

情報処理学会 インタラクシオンシンポジウムは、1997年の第1回から数えて20回目を迎えました。本シンポジウムは、この20年の長きにわたりさまざまな改善を試み、あるいはさまざまな変化を受け入れながら成長し、近年では700名の参加者を擁する盛況なシンポジウムとなっています。

本シンポジウムは招待講演、一般講演発表（口頭発表）、インタラクティブ発表から構成されています。インタラクティブ発表では **late-breaking** な研究を含む様々な研究に一度に触れることのできる貴重な体験の場となっており、近年急激に規模を拡大しています。また、一般講演・インタラクティブ発表のいずれにも優秀な発表論文やデモンストレーションに対する賞が授与されています。さらに、一般講演発表における優秀な発表論文には、論文誌への推薦も同時に実施されます。

今年度は会場を東京・科学技術館に改めての開催となりました。都心中央に位置する会場はアクセスも簡便であり、特に次代を担う若い学生・中高生を含む多くの一般の方々にインタラクシオン研究の最前線を体験いただける場を提供できるものと考えています。

本シンポジウムでは取材関係者の入場は無料とさせて頂いております。是非ご臨席賜り、次世代インタラクシオン技術を先導する最先端の研究成果を広くご紹介頂ければ幸いに存じます。

インタラクシオン 2016 大会委員長
倉本 到（京都工芸繊維大学）

インタラクシオン 2016 開催要領

<http://www.interaction-ipsj.org/>

1. 開催の趣旨

コンピュータシステムは、与えられた命令に対してバッチ処理を実行し結果を返すブラックボックスから、人間がおこなう行為に対してリアルタイムに計算結果を表示したり、人間が外在化表現をおこなったり、また人間同士のやりとりを媒介したりするメディアとして発展してきました。このような、人間と深く関わる情報技術に係る諸問題を解決するためには、人間とシステムとの間のインタラクシオン、また人間同士のインタラクシオンという観点から、問題に対峙する必要があります。

1997 年以来毎年開催されているシンポジウム「インタラクシオン」は、ユーザインタフェース、CSCW、可視化、入出力デバイス、仮想／拡張現実、ユビキタスコンピューティング、ソフトウェア工学といった計算機科学、さらには認知科学、社会科学、文化人類学、メディア論、芸術といった人文科学の研究者および実務者が一堂に会する国内最高峰の学術研究集会の一つであり、最新の技術や理論に関する情報交換の場として毎回好評を博しております。昨年度のインタラクシオン 2015 においては 700 名を超える参加者があり、インタラクシオンに関する研究の重要性および成果へのニーズは引き続き増加の途にあるといえます。

今回で 20 回目の開催となる「インタラクシオン 2016」は、人と人、人と機械との間のインタラクシオンに関わる、理論、モデル、応用、評価手法ならびにインタフェース技術全般をテーマとしています。本シンポジウムは、国際的に活躍する研究者による最新の研究成果の口頭発表、システムのデモを中心としたインタラクティブ発表等の公認イベントから構成されます。

2. 主催・協賛

主催：

情報処理学会ヒューマンコンピュータインタラクシオン研究会 (HCI)

情報処理学会グループウェアとネットワークサービス研究会 (GN)

情報処理学会ユビキタスコンピューティングシステム研究会 (UBI)

情報処理学会エンタテインメントコンピューティング研究会 (EC)

情報処理学会デジタルコンテンツクリエイション研究会 (DCC)

協賛：

情報処理学会 コンピュータビジョンとイメージメディア研究会

情報処理学会 音声言語情報処理研究会

日本バーチャルリアリティ学会

日本認知科学会

ヒューマンインタフェース学会

日本ロボット学会

人工知能学会

NPO 人間中心設計推進機構

3. シンポジウム構成

各日ともに、一般講演（口頭発表）、インタラクティブ発表（実演展示）が予定されております。
時間帯については公式ホームページのプログラムをご覧ください。

4. 日時

2016年3月2日（水） 9:40~17:00

2016年3月3日（木） 9:40~20:30

2016年3月4日（金） 9:40~16:35

5. 会場

・科学技術館

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園 2 番 1 号

交通：

地下鉄

「九段下駅」下車

「竹橋駅」下車

<http://www.jsf.or.jp/access/map/>

6. 問合せ先

インタラクシオン 2016 広報担当 中村 隆幸 (NTT)

e-mail : nakamura.takayuki@lab.ntt.co.jp

日本電信電話株式会社 未来ねっと研究所

TEL: 0422-59-4134 / FAX: 0422-59-4810

※ 事前にご来場の旨をご連絡いただければ幸いです。

※ 当日直接お見えになれる場合は、インタラクシオン 2016 受付にて、お名刺 1 枚とともに取材の旨をお申し付けください。取材関係者の入場は無料とさせて頂いております。

7. 一般発表プログラム

3月2日（水）

一般講演 1 10:00~11:15

▶ みまもメイト：家族介護者のための介護記録用 Web アプリの開発とその効果

山下 直美 (NTT), 葛岡 英明 (筑波大, RISTEX), 平田 圭二 (はこだて未来大), 工藤 喬 (阪大),

荒牧 英治 (京大), 服部 一樹 (筑波大)

- ソーシャルメディアおよび実世界における嫉妬に関する研究
吉田 翔吾郎, 土方 嘉徳 (阪大)
- ロボットによる身体ねじり対話者の身体配置に与える影響に関する研究
川口 一画, 葛岡 英明, 山下 淳 (筑波大), 鈴木 雄介 (沖電気)

一般講演 2 15:20~16:35

- JackIn Space: 一人称・三人称映像間の連続的な遷移を可能にするテレプレゼンスシステム
小宮山 凌平, 味八木 崇 (東大), 暦本 純一 (東大/ソニーCSL)
- 鏡型ビデオ会議による空間の視触覚的合成
田中 一品, 加藤 良治, 中西 英之 (阪大)
- 仮想身体サイズによる対人距離の視覚的拡張の基礎的検討—ノイズキャンセリング HMD の実現に向けて—
前田 将希, 酒田 信親 (阪大)

3月3日 (木)

一般講演 3 9:40~11:00

- カーボンコピーメタファを用いたトラックパッド用対話技法
池松 香, 椎尾 一郎 (お茶の水女子大)
- 自律移動・変形する壁型ディスプレイの設計と評価
大山 貴史, 浅利 勇佑, 高嶋 和毅 (東北大), エフド シャーリン, ソール グリーンバーグ (UCalgary), 北村 喜文 (東北大)
- CapacitiveMarker: 接触認識可能な2次元コードを用いたインタラクション手法
池田 昂平 (東大), 沖 真帆, 塚田 浩二 (はこだて未来大)
- Flickey: 超小型タッチスクリーン端末におけるフリックに基づく QWERTY キーボード
石井 晃, 箱田 博之, 志築 文太郎, 田中 二郎 (筑波大)

一般講演 4 15:20~16:00

- 触覚提示を用いたフレーズ内在化に基づく打楽器学習支援システム
菅家 浩之 (神戸大), 寺田 努 (神戸大/JST), 塚本 昌彦 (神戸大)
- 歌声・調波楽器音・打楽器音分離とユーザ演奏のリアルタイム可視化に基づく音楽演奏練習システム
土橋 彩香, 池宮 由楽, 糸山 克寿, 吉井 和佳 (京大)

一般講演 5 16:10~17:05

- Success Imprinter: 条件づけ刺激を用いたメンタル制御支援システム
双見 京介 (神戸大), 寺田 努 (神戸大/JST), 塚本 昌彦 (神戸大)
- 装着型ディスプレイを用いた非利き手トレーニングシステム

小西 直人 (神戸大), 寺田 努 (神戸大/JST), 塚本 昌彦 (神戸大)

- SUWANT!:無線 ID を利用した乗客乗降駅情報の収集・提供システム
 笹川 真奈, 椎尾 一郎 (お茶の水女子大)

3月4日 (金)

一般講演 6 9:40~10:45

- IoT アプリケーションのソフトウェア・ハードウェアを単一コードベースで開発できる統合開発環境
 f3.js
 加藤 淳, 後藤 真孝 (産総研)
- 回転移動を模したテキスト表示機能をもつ球体型移動ロボット
 土田 修平 (神戸大), 竹森 達也 (京大), 寺田 努 (神戸大/JST), 塚本 昌彦 (神戸大)
- スマートフォンで利用可能な小型多層空中像投影装置の提案
 巻口 誉宗, 新島 有信, 高田 英明, 松井 龍也, 藪本 康之, 横山 正典 (NTT)

8. 詳細プログラム

詳細なプログラムはこちらをご覧ください。随時情報更新しております。

インタラクティブ発表に関して、写真や発表概要を掲載したカタログページも用意しています。

<http://www.interaction-ipsj.org/>